

曹洞宗（そうとうしゅう）

鏡徳寺報 第10号 (R2. 4. 1発行)

住 所 茨城県日立市弁天町3-3-33

電 話 (0294) 21-2049

FAX (0294) 21-2092



石川県大乘寺にて。前列左より鏡徳寺総代、副住職、東老師、鏡徳寺住職、江里大仏師、鏡徳寺総代

真正御仏舍利奉呈法要 厳修

去る三月十一日、石川県金沢市大乘寺で御仏舍利奉呈法要が修行されました。この御舍利は平成四年七月、大乘寺の住職である東隆眞老師が横浜市善光寺住職黒田武志老師と、タイ国の日本人会会長小谷亀太郎氏の案内で首都バンコクのトンブリにある仏教寺院ワット・パクナムをお参りされた折に特に賜ったもので、今回の鏡徳寺釈迦牟尼佛尊像勧請事業に伴い、特別に分与されました。

法要には鏡徳寺総代ほか、京都よりお越し頂きました江里康慧大仏師、大乘寺関係者も参列され、東日本大震災被災物故者追悼と新型コロナウイルス感染症平癒の法要も併せて厳修されました。

舍利容器は山梨県甲府市の宅間工房 伝統工芸士米長宏之氏制作。マダガスカル産の天然水晶を用い、長年の封入に耐えられるよう、通常は五輪塔それぞれの形を接着剤を使って繋ぐところを、研磨によって削りだしました（一体造り）

御仏舍利は一度鏡徳寺に持ち帰り、春のお彼岸の間のみ、特別一般公開されました。



御仏舍利を水晶五輪塔に移す東老師



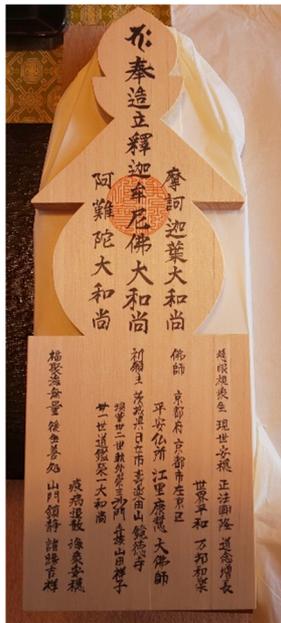
御仏舍利

御仏舍利封入式

三月二十三日、京都平安仏所にて制作中の釈迦牟尼佛尊像の体内に、御仏舍利と造仏の主旨が書かれた願文の木札を納める封入式が行われました。揮毫は山田崇三住職。

仏像の体内に経典や願文などを納める事を封入と言ひ、鎌倉時代の仏師、運慶や快慶も行っていたそうで、体内に封入された御仏舍利、願文は今後人の目に触れることはなく八百年から千年先の修理の際にその可能性があるのでのみです。

樹齢三百年以上の檜で造られている釈迦牟尼佛尊像、脇侍仏の阿難大和尚・迦葉大和尚の立像は八割から九割彫刻が済み、彫刻の済んだ箇所から截金が進んでいます。



木札 表 (おもて)



木札 裏



釈尊八大聖地巡礼 満願成就

一月二十一日から三十日にかけて、釈尊五大聖地を廻る旅を催行しました。お釈迦様降誕の地ネパールのルンビニや涅槃の地クシナガラ等を廻り、昨年三月の第一回仏跡巡礼の旅とあわせて、お釈迦様にご縁の深い八大聖地すべてを巡礼し、鏡徳寺にお釈迦様をお迎えするにあたって無事ご挨拶することができました。

鏡徳寺からは、鈴木邦壽さんが二回、今橋武久さん、海野定文さんご夫妻が一回参加され、鈴木さんは八大聖地巡礼満願成就されました。

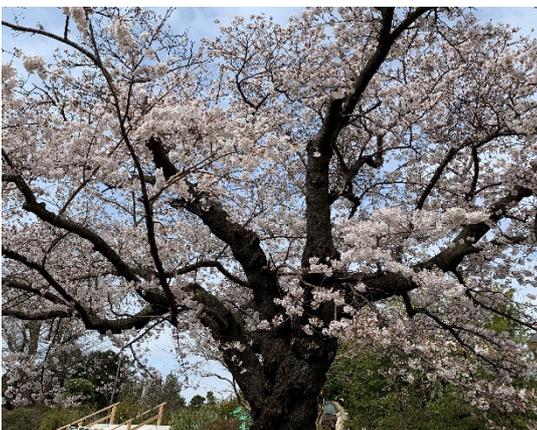


お釈迦様涅槃の地クシナガラ 涅槃堂

新型コロナウイルス感染症 対策について

三月十日から十二日の日程で予定していた大本山永平寺と加賀大乘寺の団体参拝旅行は、多くのお申し込みをいただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の集団感染対策を鑑み、延期といたしました。改めての催行日程は未定です。決まり次第、ご案内します。

また、別紙にてご案内のとおり、六月末まで法事の受付は一日三軒までといたします。会食会場の貸出しは中止します。毎月第二日曜日に開催している月例坐禅会も六月までお休みします。七月以降の対応については、六月末発行の寺報にて改めてご案内いたします。世界中で感染が拡大し、前例のない異常事態にご不安を覚える方も多くあるうと思いますが、手洗い、うがい、お掃除を欠かさず、くれぐれもお身体を大事にしてください。



参道の桜